



平成25年度 第11回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合概要

1. 背景と経緯

ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合（以下、「本会合」という。）は、ASEAN 地域における社会福祉及び保健医療の各分野の人材育成を強化し、日本と ASEAN 諸国の協力関係を強化することを目的に、2003年から開催している。

2010年の第8回会合までは ASEAN10ヶ国の社会福祉及び保健医療政策を担当するハイレベル行政官を招聘して開催し、2011年の第9回会合からは、社会福祉及び保健医療政策に加え、雇用政策を担当する行政官も招聘して、これら3分野の連携を図っている。

本会合は、ASEAN+3（日中韓）保健大臣会合ならびに ASEAN+3社会福祉・開発大臣会合の目的を遂行するために日本が行う協力事業として、関係国間で位置づけられている。日本から ASEAN+3大臣会合において本会合の結果を報告し、それに対し ASEAN 諸国からは、今後の継続的な会合開催への期待が表明されている。

本年は、日本と ASEAN 諸国との友好協力40周年の節目の年であり、日・ASEAN の協力強化に資するものとなることが期待されている。

2. 今回会合のテーマ及び議論の主題

1) 今回会合のテーマ

第11回会合では、「Active Aging」をテーマに、その基盤となるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ[※]、社会福祉・保健医療・雇用分野の高齢者施策の現状及び課題、今後の制度整備、さらに当分野の国際協力の在り方等について議論し、参加各国の高齢化の課題と対応について提言をとりまとめる。

※) WHOが提唱する「すべての人が適切な予防、治療、リハビリなどの保健医療サービスを、必要な時に支払可能な費用で受けられる状態」。国民皆保険等を含む。

2) 議論の主題

- ・ Active Aging を実現する基盤となるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ
- ・ 高齢者のための保健医療福祉サービス
- ・ 高齢者を支えるコミュニティ
- ・ 高齢者の社会参加と社会貢献
- ・ Active Aging の取組みで視察（日本）から学ぶこと
- ・ 行政の役割
- ・ 高齢化に関するこれからの ASEAN の協力と連携

3. 開催日程、会場

日程：平成25年12月3日（火）～5日（木）
会場：品川プリンスホテル（東京・港区）

4. プログラム（予定）

12月3日（火） 9：00～17：00

開会
日本の高齢化対策等について講演
パネルディスカッション
協力機関講演

12月4日（水） 9：00～17：30

自治体訪問（東京都品川区）
施設訪問（東京都江東区）

12月5日（木） 9：00～15：30

パネルディスカッション
会議のまとめ（リコメンデーション採択）
閉会

5. 主催

厚生労働省

6. 参加者

- ASEAN 10カ国（計60名）
保健医療政策担当、社会福祉政策担当、雇用政策担当行政官各2名
- オブザーバー国（計6名）
中華人民共和国、大韓民国の保健医療政策担当、社会福祉政策担当、雇用政策担当行政官各1名
- 協力機関
ASEAN 事務局、世界保健機関（WHO）/西太平洋地域事務所（WPRO）
国際労働機関（ILO）駐日事務所、独立行政法人国際協力機構（JICA）
- 有識者
- 一般傍聴者